

第2回町議会臨時会で副町長等が選任されました

このたび、副町長に選任されました森武士です。
地方創生を目的とした「四万十町まち・ひと・しごと創生総合戦略」は4年目となり、総仕上げの時期になってまいりました。この間、移住定住政策、福祉の充実、人材育成事業などで、本町の取り組みは、県内外から高い評価をいただいております。四万十町に生まれて良かった、住んで良かったと思える「まちづくり」に向けて、微力ではありますが、初心を忘れることなく、一生懸命がんばりたいと思います。



副町長 森 武士 (59歳・十和川口)

副町長あいさつ

私は、去る4月3日に告示されました四万十町長選挙におきまして、多くの町民の皆さまからご支援を賜り、再び今後4年間の町政を担当させていただくこととなりました。改めまして、四万十町長としての責任の重さを実感しているところでございます。

任期満了に伴う四万十町長選挙は、4月3日に告示され、無所属で現職の中尾博憲氏(64歳)が無投票で再選を果たしました。



所信表明

平成26年4月23日からの1期4年間を振り返りますと、就任間もなく安倍政権の中で、東京一極集中の是正と、地方の人口減少に歯止めをかけ、日本全体の活力を上げることが目的とした一連の政策が打ち出されたことから、本町におきましても地方創生総合戦略を策定し、人口減少対策などに取り組んでまいりました。

4月24日に初登庁した中尾町長は、庁舎入口に集まった多くの町職員に拍手で出迎えられ、2期目のスタートを切りました。このたび、町長就任後、初の町議会となる平成30年第2回町議会臨時会において、町長の所信表明が行われましたので、その内容を紹介します。

とりわけ、「人づくり施策」、「移住定住施策」、「高齢者福祉施策」、「子育て施策」などにつきまして、まちづくりを推進していくために欠かすことのできない施策として、職員一丸となって取り組んできたところでございます。これら施策の推進にあたっては、議員各位、町民の皆さまの

温かいご指導、ご提言を賜りましたこと、深く感謝を申し上げます。

これらの施策に取り組んできたことにより、四万十町にU・Iターンされる方々も数倍に増加し、まちづくりの根幹を成す生産年齢人口の確保も一定進み、また、本町の基幹産業である農業の新規就農者数も増加傾向となっております。

さらに平成28年度においては、16人ではありますが、転入者が転出者を上回る社会増となり、減少傾向にあった出生数についても増加に転ずるなど、好循環の兆しが見え始めている状況です。

また、平成27年度から本格的に推進してまいりました、返礼品を用いたふるさと納税につきまして、町内事業者の皆さまの積極的な取り組みによりまして、全国の多くの方々から年間約13億円という多額の心温まるふるさと納税をいただき、大変感謝しているところでございます。

改めまして、ふるさと納税にかかわるすべての皆さまに感謝とお礼を申し上げます。町の財政状況につきましては、町税や年々若干ではありますが、町税や

教育委員

四万十町教育委員会は、教育長と4人の教育委員で組織しています。今回、2名の委員が任期満了となりましたので、新たに次の方々が任命されました。



横山 順一 (63歳・大正) 任期：平成32年5月12日まで



佐々倉 愛 (33歳・十和川口) 任期：平成34年5月12日まで

監査委員

監査委員は、地方公共団体の財務に関する事務の執行およびその経営に係る事業の管理を監査する機関です。今回、委員の任期満了に伴い、

次の方が選任されました。

田邊 幹男 (68歳・西ノ川)

選挙管理委員会委員

四万十町選挙管理委員会は、4人の委員で組織しています。今回、委員の任期満了に伴い、次の方々が選出されました。

芝 志郎 (73歳・十和川)
友永 准一 (66歳・上宮)
敷地 敬介 (59歳・東川角)
笹倉 陽子 (41歳・小野)

固定資産評価審査委員会委員

固定資産評価審査委員会は、固定資産課税台帳に登録された価格に対する納税者からの不服を審査決定するため、地方税法に基づき設置した中立的な機関で、3人の委員で組織しています。

今回、委員の任期満了に伴い、次の方が選任されました。

友永 准一 (66歳・上宮)
岡本 順一 (64歳・昭和)
金子 仁 (39歳・仕出原)

「お問い合わせ先」

総務課 ☎22・3111

本庁西庁舎2階の配置移動について

にぎわい創出課地産外商室の新設に伴い、**林業振興室が農林水産課北側(窪川駅側)へ移動し、農業委員会が向かい側(建設課側)へ移動**しました。

なお、電話番号・FAX番号は変わりません。来庁の際にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

【お問い合わせ先】 総務課 ☎22-3111



町民の皆さまのご支援、ご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。私の所信といたします。

財政調整基金などが増加傾向となるなど、財源の確保や財政運営も健全な状況を持しております。こうしたことから、私の2期目につきましては、このような好循環の兆しをしっかりと継承し発展させ、力強いまちづくりの取り組みを推進していかねばならないと考えております。

とりわけ、この地域で子育てをし、地域の産業を支えてきていただいた多くの先輩の皆さまが、安心して生活できる福祉環境の充実と、これからの地域の産業を支える後継者の育成、そして起業を志す人材の育成・支援を強力に推進することにより、住んで良かったと思える、幸せを実感できる、活力あふれる四万十町を職員一丸となって創造していくことをお約束申し上げます。